



平成 28 年 7 月 26 日

各 位

上場会社名 日華化学株式会社
 代表者 代表取締役社長江守康昌
 (コード番号 4463 東証・名証第2部)
 問合せ先 取締役執行役員 管理部門長
 澤崎 祥也
 (TEL 0776-24-0213)

平成 28 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結・個別業績予想及び

平成 28 年 12 月期通期連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月 21 日に公表した平成 28 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想の修正及び、平成 28 年 2 月 10 日に公表した平成 28 年 12 月期通期連結業績予想及び平成 28 年 12 月期第 2 四半期 (累計)・通期個別業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	24,000	1,000	1,000	500	31 円 87 銭
今回修正予想 (B)	21,000	850	800	400	25 円 49 銭
増 減 額 (B-A)	△3,000	△150	△200	△100	—
増 減 率 (%)	△12.5%	△15.0%	△20.0%	△20.0%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	21,999	1,489	1,632	993	58 円 27 銭

2. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(百万円)

	売 上 高	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	12,000	1,400	1,200	76 円 48 銭
今回修正予想 (B)	11,000	800	600	38 円 24 銭
増 減 額 (B-A)	△1,000	△600	△600	—
増 減 率 (%)	△8.3%	△42.9%	△50.0%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	11,253	711	546	32 円 08 銭

3. 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

（百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	50,000	3,000	3,000	3,000	191 円 19 銭
今回修正予想（B）	44,000	2,000	2,000	2,500	159 円 33 銭
増 減 額（B－A）	△6,000	△1,000	△1,000	△500	—
増 減 率（％）	△12.0％	△33.3％	△33.3％	△16.7％	—
（ご参考） 前期通期実績 （平成 27 年 12 月期通期）	46,526	2,364	2,442	1,151	70 円 13 銭

4. 平成 28 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

（百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	25,000	2,000	1,000	63 円 73 銭
今回修正予想（B）	23,000	1,100	300	19 円 12 銭
増 減 額（B－A）	△2,000	△900	△700	—
増 減 率（％）	△8.0％	△45.0％	△70.0％	—
（ご参考） 前期通期実績 （平成 27 年 12 月期通期）	22,569	659	1,031	62 円 83 銭

5. 修正の理由

（1）平成 28 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結・個別業績予想数値の修正について

連結業績予想につきましては、化粧品関連事業において、山田製薬株式会社の製造受託事業や海外事業が、想定より大幅に伸長しましたが、為替相場が当初の想定より円高に推移したことやアジア通貨が下落したことに加え、繊維加工用薬剤の製品開発や販路拡大が遅れたことなどにより、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初予想を下回る見込みであります。

個別業績予想につきましては、急速な円高や株価の変動に伴う景気の先行き不透明感が消費者心理に影響するなど、国内の市況が変化したことや、化学品事業及び化粧品関連事業において、販路拡大が遅れたことなどにより、売上高が当初予想を下回る見込みであります。また、関係会社からの受取配当金が当初予想より少なかったことや、円高により為替差損が発生したことなどから、経常利益及び当期純利益は、当初予想を下回る見込みであります。

（2）平成 28 年 12 月期通期連結・個別業績予想数値の修正について

連結業績予想につきましては、為替相場が当初想定より円高に推移していることから、通期の想定為替レートを 1 ドル 120 円から 105 円に見直しております。また、第 2 四半期までの業績影響に加え、化学品事業において、繊維加工用薬剤事業を中心とする既存事業の販路拡大を計画しておりましたが、中国景気の減速や市況の変化等の影響により、進捗が遅れることを見込んでおります。その結果、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、当初予想を下回る見込みであります。

個別業績予想につきましては、第 2 四半期までの業績影響に加え、第 3 四半期以降も国内の市況は引き続き不透明感が継続するものと見込んでおり、化学品事業及び化粧品関連事業において、販路拡大が遅れることを見込んでおります。その結果、売上高、経常利益及び当期純利益は、当初予想を下回る見込みであります。

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上